

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、東京女子医科大学附属足立医療センター周産期新生児診療部新生児科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方やご家族の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 未熟児網膜症に対する網膜光凝固術時の呼吸管理法の比較

[研究対象者] 2015年1月～2023年9月までの間に、当院に入院した早産児で、未熟児網膜症に対する網膜光凝固術を受けた患者様

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、家族歴、病歴、検査結果（SpO₂モニタリング、血液、画像、生理的検査など）、治療内容・経過、等

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

この研究は網膜光凝固術の際の適切な呼吸管理法を検討する目的で行います。網膜光凝固術では鎮静が必要であることなどから、赤ちゃんには呼吸管理を行いながら処置を実施します。その呼吸管理は、従来は気管挿管して人工呼吸を行う侵襲的呼吸管理が主流でした。しかし近年では呼吸管理の進歩により、気管挿管せず鼻マスクなどを装着して呼吸管理を行う、非侵襲的呼吸管理でも処置が可能になってきました。非侵襲的呼吸管理は気管挿管が不要であるなど、赤ちゃんへのストレスは少ないのですが、完全な鎮静が難しいことなどから処置が少しやりにくい場合があります。侵襲的または非侵襲的呼吸管理を受けた赤ちゃんの治療経過を比較することで、非侵襲的呼吸管理でも治療効果が変わらず、赤ちゃんへの負担の少ない管理ができるかどうかわかります。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2027年3月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学附属足立医療センター周産期新生児診療部新生児科 教授 長谷川久弘

研究内容の問い合わせ担当者：

東京女子医科大学附属足立医療センター周産期新生児診療部新生児科 准教授 山田洋輔

電話：03-3857-0111（応対可能時間：平日9時～16時）